

横浜市栄区庁舎ESCO事業最優秀提案を選定!!

～ 光熱水費 約480万円 / 年の削減を実現～

公共建築物長寿命化対策事業と連携し、「公共建築物の長寿命化」とESCO事業による「環境負荷と光熱水費の低減」を目的として公募した、横浜市栄区庁舎ESCO事業(自己資金型)で、各事業者からの提案を「横浜市ESCO事業提案審査委員会」において厳正に審査した結果、**最優秀提案事業者を選定**しました。

事業者

最優秀提案事業者としては、(株)エネルギーアドバンス(エネルギーサービス業)、エルゴテック(株)(管工事業)の2社からなるグループを選定しました。

削減効果

削減効果は、「省エネルギー率」が21.4%、「CO₂排出削減率」が23.6%となり、1年間の削減量は、一般家庭約30世帯分の年間使用エネルギー量、杉の木約5,400本分の年間CO₂吸収量に相当します。
「光熱水費削減額」は約480万円/年と、現在消費している年間の光熱水費約2,400万円の20%を削減する提案となっています。

提案内容

多岐にわたる省エネルギー技術を老朽化機器更新に合わせ導入します。

- ・空調熱源のシステム変更
ガスヒートポンプパッケージ導入(本館)
空冷ヒートポンプチラー導入(新館)
- ・冷温水2次ポンプインバータ化
- ・空調機取入外気量の削減
- ・照明器具インバータ化
- ・緑のカーテン(壁面緑化)
- ・節水器具導入ほか

上記に伴う改修費用は約1.6億円です。



栄区庁舎

審査経過

今回の事業者公募では、2企業グループから応募があり、事前に公表した審査基準に基づいて、外部委員による、「横浜市 ESCO 事業提案審査委員会」において、公正かつ客観的に評価し、総合的な審査を行いました。

横浜市 ESCO 事業提案審査委員会委員

	氏名	職名
委員長	いいた のりまさ 飯田 訓正	慶應義塾大学理工学部 システムデザイン工学科 教授
委員 (職務代理者)	よしだ さとし 吉田 聡	国立大学法人 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 准教授
委員	あべ ゆたか 阿部 豊	日産自動車(株)横浜工場 工務部工務課 課長
	いかわね ゆみこ 岩船 由美子	東京大学生産技術研究所 人間・社会系部門 エネルギー工学連携研究センター 講師
	さえぐさ やすお 三枝 康雄	(株)浜銀総合研究所 地域戦略研究部 部長

施設概要

横浜市栄区庁舎

- ・所在地：横浜市栄区桂町 303 番地 19
- ・建築構造：RC造 地上4階（本館、新館）
RC造 地上2階（機械室棟）
- ・延床面積：8,483㎡
- ・建物しゅん工年：1974年（本館）
：1986年（機械室）
：1993年（新館）

選定経過と今後のスケジュール(予定)

- ・公募：H20.9.8～9.25(参加表明)
- ・審査委員会：3回開催
- ・事業者選定：H20.12
- ・予算議決：H21.3
- ・本契約：H21.8
- ・工事完了：H22.3
- ・ESCOサービス開始：H22.4～

ESCO事業(自己資金型)の仕組み

ESCO 事業とは、既存施設の設備改修において、省エネルギー化と光熱水費の低減を図るため、民間事業者が計画・工事・管理・資金調達等包括的なサービスを提供し、従前の環境を低下させることなく省エネルギー化を行い、その結果得られる効果を保障する事業です。

自己資金型の事業では、省エネルギー改修に係る初期投資を市が行います。一方、ESCO 事業者は市に対して省エネルギー効果を保証し、光熱水費の削減を実現します。市はその削減保証とその実現に対する報酬を ESCO サービス料として事業者を支払います。

ESCO = Energy Service Company の略称です。